

平成28年度  
事業報告

自 平成28年4月 1日  
至 平成29年3月31日

公益財団法人岩手県国際交流協会

## 「平成 28 年度事業報告」目次

< 概要 > . . . . .	1
< 事業活動 >	
1 地域に根ざした国際理解・交流の推進 . . . . .	3
(1) 国際交流の推進 . . . . .	3
(2) 国際理解の推進 . . . . .	5
(3) 国際交流団体等との連携 . . . . .	5
2 多文化共生の地域づくり . . . . .	8
(1) 情報の収集・提供 . . . . .	8
(2) 日本語学習支援 . . . . .	9
(3) 外国人県民等の生活支援 . . . . .	10
3 次代を担う人づくり . . . . .	13
(1) 講座・研修 . . . . .	13
(2) 海外研修員等の受入れ . . . . .	15
< 管理部門 >	
I 評議員会・理事会等の開催状況 . . . . .	16
II 業務執行体制等 . . . . .	16
1 職員の状況 . . . . .	16
2 コンプライアンス体制及び職員研修 . . . . .	16
3 JICA 国際協力推進員の配置 . . . . .	17
III 寄附金及び賛助会員の状況 . . . . .	17
1 寄附金の受入れ . . . . .	17
2 賛助会員の入退会 . . . . .	17

# 平成 28 年度事業報告

## < 概 要 >

平成 28 年度は、事業計画に基づき、「地域に根ざした国際理解・交流の推進」、「多文化共生の地域づくり」、「次代を担う人づくり」の 3 つの柱に沿って各種事業に取り組み、本県における国際交流・協力・多文化共生の推進に努めた。

特に、重点事項として、地域の国際交流拠点としての発展が期待される市町村国際交流協会と連携し、各地域での協働イベントや在住留学生を沿岸被災地域に派遣しての相互の文化交流等を実施したほか、宮古市国際交流協会の設立に当たっての必要な助言や事業運営の支援を行うなど、市町村国際交流協会の運営強化に向けた積極的な支援に努めた。

また、技能実習生の増加等に伴う在住外国人の増加やインバウンド観光の増大、国際リニアコライダーの誘致等に対応し、災害時における外国人支援の仕組みづくりに向けた多言語サポーターの育成研修や、日本語学習ニーズに対応したサポーターの育成研修等を実施し、外国人受入れの基盤となる体制の整備促進に努めた。

さらに、「世界とのかけはしクラブ設置運営事業」を拡大実施し、グローバル化を支える若年人材の育成に努めたほか、自立した多文化共生社会の実現を担う人材の育成・活用に向けて、県内の産学官が一体となって取組を推進していくための母体となる「いわてグローバル人材育成推進協議会」の設立に積極的に参画するとともに、今後、同協議会の事務局機能の一部を担い、本県全体のグローバル人材育成の推進に努めていくこととしている。

3 つの柱における主な事業実施の概要は、次のとおりである。

### 1 「地域に根ざした国際理解・交流の推進」

県の国際交流センターの管理運営を受託し、アイーナ入居団体や在住外国人等との連携による交流イベントを定期的実施するなど、センター利用者の拡大を図った。

ワン・ワールド・フェスタについて、アイーナでの開催では昨年を大幅に上回る 4,446 人の参加があったほか、市町村協会等と協働し、陸前高田市、宮古市、西和賀町及び大槌町で交流イベントを実施した。

また、新たな取組として、福祉分野のふれあいランド岩手との連携による国際交流イベントを実施し、参加者の掘り起こしを図った。

## 2 多文化共生の地域づくり

ホームページの更新やこれまでの情報紙と機関誌の統合により、内容の充実化と効率的な情報提供を図った。

日本語学習支援について、8回シリーズの日本語サポーター研修を実施し、日本語サポーター登録者の拡大と指導能力の向上を図った。

また、技能実習生や外国人観光客などの増加に対応し、災害時に多言語での支援を行うサポーターを育成、確保するための研修や実践訓練を実施し、災害時多言語サポーターとして14名の認定と登録を行った。

## 3 次代を担う人づくり

「世界とのかけはしクラブ」設置運営の普及拡大を図るため、県内各地で延べ8回ワークショップを実施するとともに、「いわてグローバル人材育成推進協議会」の設立に積極的に参画し、本県のグローバル化を担う若い人材の育成に向けた体制づくりに取り組んだ。

また、グローバルカレッジやいわて青年国際塾では「ニュージーランドプログラム」をテーマとして、新たな視点でのグローバル社会への対応や海外留学への意欲高揚を図った。

## ＜事業活動＞

### 1 「地域に根ざした国際理解・交流の推進」

#### (1) 国際交流の推進

##### ① 国際交流センターの運営

岩手県から委託を受けて、国際交流センターにスタッフ6名及び外国人相談専門員等4名を配置し、国際交流等の情報提供、在住外国人に対する相談や生活支援のほか、国際交流の拠点施設としてセンター利用者への対応等を行った。

- ・来館者数 140,540人 (前年度 134,524人)
- ・インターネット利用者数 3,406人 (前年度 4,060人)
- ・情報提供件数 1,691件 (前年度 1,394件)

##### ② 外国人との交流会の開催

県国際交流員や留学生等との協働企画により、定期的に外国人との交流会を開催するとともに、アイーナ入居団体等との連携による企画イベントを実施し、参加者の拡大を図った。

- ・外国人との交流会：開催回数 5回、参加者 延べ710人
- ・センター企画事業：開催回数 4回、参加者 延べ318人 合計 1,294人  
(前年度 14回 延べ620人)

外国人との交流会			
開催日		テーマ	参加人数
1	5/8	アイーナ&国際交流センターOPEN10周年記念イベント ～10 Discoveries for the 10th Anniversary～	592
2	7/18	Goeie dag! 南アフリカ&ナミビア	38
3	1/22	留学生と一緒に海外文化を楽しみましょう!	30
4	2/24	リカルドさんのHola!キューバ	19
5	3/19	カナダの首都オタワを知る	31
国際交流センター企画事業			
1	6/18	環境×国際～アメリカと中国では今、何が起きている? (環境学習交流センターとの連携事業)	24
2	7/16	雲南省 Kids in 岩手 2016 (県との連携事業)	43
3	9/2	World of ハルキ・ムラカミ (県立図書館との連携事業)	35
4	10/2	Sunday Funday～親子で楽しむ国際交流～ (青少年活動交流センターとの連携)	482
合 計			1,294

### ③ 国際交流イベントの開催

#### ア「2016 ワン・ワールド・フェスタ in いわて」の開催

「2016 ワン・ワールド・フェスタ in いわて」をアイーナ（盛岡市）のほか、陸前高田市、宮古市及びふれあいランド岩手（盛岡市）で開催した。

##### ・アイーナ（盛岡市）における開催

開催日 平成 28 年 11 月 20 日（日）

会場 国際交流センター他

参加者 4,446 人（前年度 3,600 人）

テーマ 世界はともだち

プログラム 「ワールドエリア」、「ワンワールドカフェ」、「民族衣装試着体験」、「世界とのかけはしクラブ セカンドステージ」、「キッズコーナー」、「国際交流スタンプラリー」ほか

協賛等 岩手ウインターリゾート協議会

##### ・ワン・ワールド・フェスタ in けせん～クリスマス交流会～

開催日 平成 28 年 12 月 21 日（日）

会場 陸前高田市コミュニティホール

参加者 約 150 人

共催 陸前高田市国際交流協会

プログラム 外国紹介ブース(タイ、アメリカ、中国ほか 3 か国)、キッズコーナー、民族衣装体験コーナー、外国人相談コーナーほか

##### ・ワン・ワールド・フェスタ in 宮古

開催日 平成 29 年 2 月 18 日（土）

会場 シートピアなあと

参加者 約 300 人

共催 宮古市、宮古市国際交流協会

プログラム 「世界とのかけはしクラブ」沿岸ワークショップ、外国紹介ブース、キッズコーナー、カフェコーナー、民族衣装試着体験

##### ・ふれあいフェスタ

開催日 平成 28 年 12 月 17 日（土）

会場 ふれあいランド岩手（盛岡市）

参加者 321 人

主催 福祉交流施設ふれあいランド岩手（指定管理者：（社福）岩手県社会福祉協議会

協賛 （公財）岩手県国際交流協会

プログラム ワールドカフェ、中国餃子の試食コーナー、キッズコーナー  
ワールドブース、民族衣装試着コーナー

#### イ 盛岡さんさ踊りへの参加

参加日 平成 28 年 8 月 3 日（水）

参加者 117 人（外国人：17 か国 41 人）

\*「パフォーマンス賞」受賞

④ 「身近な国際協力～世界フェアトレードデイ～」の実施

ワン・ワールド・フェスタの中で、県内フェアトレード団体等と連携してフェアトレードに関するプログラムを実施し、国際協力の意識啓発を図った。

⑤ ホストファミリーの登録・活用

ホストファミリーの登録を行い、ホームステイの依頼に応じて活用を促進した。  
・登録者 157 家庭 ・活用 8 件（16 家庭）（前年度 154 家庭 8 件）

⑥ いわて国際化人材の登録・活用

在住外国人や海外経験のある方々、通訳や翻訳に対応できる方々等の登録を行い、講師紹介の依頼があった際に紹介を行った。

また、様々な言語の依頼に対応できるよう、インドネシア語など希少言語の登録者の拡大を図った。

・登録者 個人 340 人、団体 7 団体、依頼件数 73 件、活用件数 52 件  
（前年度 " 322 人、" 7 、 " 67 件、" 47 件）

(2) 国際理解の推進

① 企画展示

展示コーナーを活用し、年間を通じて時宜をとらえた各種企画展示を行った。

	期 間	テーマ
1	4 月 1 日～4 月 30 日	外国のウエディングは？
2	5 月 8 日～6 月 23 日	国際交流センター開館 10 周年記念
3	4 月 18 日～5 月 5 日	岩手から世界へ～開発途上国で活躍する JICA ボランティア～写真展
4	6 月 20 日～6 月 30 日	盛岡さんさ踊り
5	6 月 23 日～8 月 25 日	中国雲南省民族人形展
6	8 月 27 日～9 月 26 日	世界のおもちゃ、楽器&民族衣装
7	10 月 7 日～11 月 17 日	ニュージーランドって？
8	11 月 3 日～11 月 19 日	ワン・ワールド・フェスタ
9	12 月 4 日～12 月 25 日	国際リニアコライダー（ILC）展示
10	12 月 25 日～2 月 10 日	世界のお正月
11	2 月 1 日～3 月 22 日	韓国民族衣装展
12	2 月 13 日～3 月 31 日	岩手物語
13	3 月 26 日～4 月 6 日	外国人留学生による「岩手のいいところ」写真展

(3) 国際交流団体等との連携

県内 4 圏域ごとに担当職員を配置し、各市町村国際交流協会への支援窓口を設置するとともに、盛岡、県南、沿岸及び県北の 4 地域で連携強化の取組等に関する意見交換会を行った。

① 地域別市町村国際交流協会との意見交換会の開催

	開催場所	開催日	参集者
盛岡地域	盛岡市（アイーナ）	平成28年5月12日（木）	参集者 11人 ・市町村協会 4団体（5人） （内市町村兼務 1団体2人） ・市町村 4市町（4人） ・県若者女性協働推進室 1人 ・盛岡広域振興局 1人
県南地域	奥州市（県南広域振興局）	平成28年5月19日（木）	参集者 16名 ・市町村協会 7団体（9人） ・市町村 5市町（5人） ・県若者女性協働推進室 1人 ・県南広域振興局 1人
沿岸地域	釜石市（釜石市役所）	平成28年5月26日（木）	参集者 15人 ・市町村協会 4団体（7人） （内市町村兼務 3人） ・市町村 6市町（6人） ・県若者女性協働推進室 1人 ・沿岸広域振興局 1人
県北地域	久慈市（久慈市役所）	平成28年5月10日（火）	参集者 13人 ・市町村協会 5団体、6人 （内市町村兼務2） ・市町村 5市町村、5人 ・県若者女性協働推進室 1人 ・県北広域振興局 1人

② 国際交流関係団体連絡会議の開催

国際交流関係団体の活動活発化に向けた意見交換、情報交換を行うとともに、国際化の意義に関する講演を開催した。

- ・開催日 平成29年2月28日（火）
- ・会場 盛岡市（アイーナ）
- ・内容 全体会（意見交換等）  
講演「岩手のグローバル化を考える～次世代の地域グローバル化の方向性を探る～」  
講師 及川孝信氏（キウイ・ジェイ・アナ社代表）  
参加者 35団体 43人（前年度26団体34人）

国際交流関係団体連絡会議登録団体数 134団体（前年度135団体）

分野	団体数
国際理解	17
国際協力	9
日本語教室	8
青少年	13
学校・教育・文化・スポーツ	16

経済・観光	7
二カ国間交流	32
市町村・一般	32

### ③ 国際交流関係団体等の活動支援助成

県内の国際交流団体等及び市町村国際交流協会が行う県民参加型の国際交流・協力・多文化共生の活動や事業に要する経費の一部を助成した。

#### ア 国際交流団体等

・助成数 4件 助成総額 252千円  
(前年度 2件 // 145千円)

事業名	主催団体	助成額 (総事業費)
はやちねワールドフェスタ 2016	はやちねワールドフェスタ 実行委員会	100,000円 (310,366円)
国際交流・被災地支援事業 腹話術公演「心に歌が生まれま すように」	特定非営利活動法人 いわ て翼の会	29,000円 (70,584円)
東日本大震災から5年 ロシアバレエ慈善公演 (共催、事業協力)	日本ロシア協会岩手支部	23,000円 (93,160円)
ラットランド文化交流事業	石鳥谷・ラットランド友好 協会	100,000円 (213,032円)

#### イ 市町村国際交流協会

・助成数 5件 助成総額 522千円  
(前年度 5件 // 550千円)

事業名	主催団体	助成額 (総事業費)
キッズワールドクラブ	一般財団法人 遠野市教育文化振興財団	100,000円 (649,959円)
キッズサマースクール in けせん	大船渡市国際交流協会、 陸前高田市国際交流協会	200,000円 (1,601,200円)
ネパール Night ライブ フェアトレード&ワールドカ フェ in 金ヶ崎	金ヶ崎町国際交流協会	100,000円 (385,521円)
多文化共生の社会づくり醸成 のための国際交流会開催事業	川崎 21 世紀国際交流クラ ブ	48,000円 (117,341円)
一関の国際交流 PR 大作戦事業	一関国際交流協会	74,000円 (109,141円)

#### ウ 日本語教室

・助成数 4件 助成総額 320千円  
(前年度 5件 // 286千円)

事業名	主催団体	助成額 (総事業費)
岩手町国際交流協会 日本語サロン	特定非営利活動法人 岩手町国際交流協会	80,000 円 (143,147 円)
日本語講座	一関国際交流協会	80,000 円 (100,000 円)
日本語交流室「じょい」 日本語教室	日本語交流室「じょい」	80,000 円 (119,776 円)
日本語教室「いっぽいっぽ」運 営事業	日本語教室「いっぽいっぽ」	80,000 円 (160,684 円)

#### ④ 国際交流関係団体等との共催事業の実施

国際交流関係団体等が行う国際交流、国際協力、多文化共生の事業に対して、共催団体として支援を行った。

##### ア「国際交流 DAY」in にしわが

開催日 平成 28 年 12 月 18 日 (日)

会場 沢内バーデン

参加者 約 100 人

共催 西和賀町国際交流協会

プログラム ワールドブース、ワールドカフェ、世界とのかけはしクラブほか

##### イ「国際交流 DAY」in おおつち

開催日 平成 28 年 12 月 23 日 (金)

会場 大槌町コミュニティプレイス

参加者 56 人

共催 大槌町国際交流協会、大槌町教育委員会

プログラム ワールドブース、ワールドカフェ、民族衣装試着体験、姉妹都市交流フォートブラック市の紹介、世界とのかけはしクラブほか

## 2 多文化共生の地域づくり

### (1) 情報の収集・提供

#### ① 多言語ホームページによる情報提供

ホームページやブログ、フェイスブック、ツイッターを通じて日本語及び英語、中国語、韓国語で各種情報提供を行った。

・ホームページの来訪者数\* 38,196 件 (前年度 39,279 件) \*トップページアクセス数

#### ② 多言語の国際交流情報紙の発行

日本語及び英語、中国語版の国際交流情報紙を年 4 回で発行した。

・日本語版 (四半期毎 4 回) 合計 14,000 部 (3,500 部/回)

・英語版・中国語版 (四半期毎 4 回) 各合計 10,000 部 (2,500 部/回)

(前年度 日本語版 (4 回) 合計 14,000 部、英語・中国語版 (4 回)

合計 10,000 部)

#### ③ 国際交流・協力・多文化共生に関する図書・情報の収集・提供

外国語も含めた蔵書やビデオ・DVD の教材等、国際交流関連の情報の収集・

提供を行った。

- ・蔵書等のデータベース登録数 **7,965冊**（前年度 8,401冊）
- ・資料収集国数 **190か国**（前年度 190か国）
- ・国別ボックス数 **30箱/56か国**（前年度 25箱/56か国）
- ・民族衣装 **21か国/61セット**（前年度 14か国/39セット）

## (2) 日本語学習支援

### ① 日本語サポーターの登録・育成と活用

日本語サポーターの登録と活用により、在住外国人のニーズに対応した日本語学習を支援した。

#### 日本語サポーターの登録・活用

- ・登録者 **74人**（前年度 226人）
- ・活用 **39件**（前年度 40件）

### ② 日本語学習支援ネットワーク会議 16 in MORIOKA の開催

日本語学習支援に携わっている東北各県の関係者が一堂に会し、情報・意見交換を行った。

- ・開催日 平成 28 年 8 月 27 日(土)
- ・会場 盛岡市（アイーナ）
- ・内容 **ア パネルディスカッション**

「岩手から発信する地域の多文化共生」

パネラー： 奥州市 ILC 推進室 アンナ・トマス氏

（一社）北上市国際交流協会 薄衣景子氏

岩手県若者女性協働推進室 吉田真二氏

進行： 岩手大学グローバル教育センター 松岡洋子氏

#### **イ ランチセッション「ILC と岩手の多文化社会」**

岩手県科学 ILC 推進室

#### **ウ 分科会**

##### 分科会 1 日本語学習支援の意義と持続可能性を考える

スピーカー： 下川弓佳氏（A. Y. C. L. 代表）

佐々木匡人氏（オーシャンズ宮古国際交流クラブ代表）

村井浩和氏（日本語サポートクラブ NIKK 代表）

進行： 内海由美子氏（山形大学）

##### 分科会 2 外国につながる子供と語る「教育の未来」

スピーカー： 佐竹一郎氏（中国出身）

李明昊氏（岩手県立大学学生 中国出身）

柳林レスリー氏（フィリピン出身）

進行： 中川佑治氏（福島大学）

##### 分科会 3 外国人の多様化と多文化社会づくり

スピーカー： 幕田順子氏（福島県国際交流協会）

大泉貴広氏（宮城県国際化協会）

進行：松岡洋子氏（岩手大学）

### ③ 日本語サポーター研修の実施

日本語サポーターの育成を目的に8回シリーズの日本語サポーター研修を実施した。

- ・開催日等 第1回 平成28年8月28日（日）  
講師 岩手大学グローバル教育センター教授 松岡洋子氏  
（公財）宮城県国際化協会 大泉貴広氏
- 第2回 平成28年9月15日（木）  
講師 田巻英子氏（日本語講師）
- 第3回 平成28年10月30日（日）  
講師 木坂京子氏（日本語教室「いっぽいっぽ」）
- 第4回 平成28年11月17日（木）  
講師 桂静子氏（雫石町国際交流協会日本語教室講師）
- 第5回 平成28年12月10日（土）  
講師 熱海アイ子氏（日本語ボランティア団体「ゆうの会」）
- 第6回 平成29年1月19日（木）  
講師 村井好子氏（いわて\*多文化子どもの教室「むつみっこクラブ」）
- 第7回 平成29年2月11日（土）  
講師 陳斌氏（県国際交流員、日本語講師）
- 第8回 平成29年3月2日（木）  
講師 大高久枝氏（日本語講師）
- ・会場 盛岡市（アイーナ）
- ・参加者数 延べ235人

## (3) 外国人県民等の生活支援

### ① 外国人相談の実施

国際交流センターの機能の一つである「外国人相談」について、職員や中国人、韓国人及びフィリピン人対応の各外国人相談専門員、国際交流補助員等で日常的な相談に対応した。

#### ア 相談窓口の設置

国際交流センターに相談窓口を設置し、生活上の問題をはじめとして幅広い相談に対応した

- ・相談件数 505件（前年度 510件）（イ、ウ、エの相談件数を含む。）

（相談内容の内訳）

	コミュニケーション	住居	教育	医療・保健・福祉	行政手続	その他
27年度	41	11	53	44	153	208
28年度	49	9	53	51	163	180

\*その他について

家庭や夫婦間のトラブル等（32件）や、職探しや労働環境の相談（23件）が多い。また、携帯電話等の契約などの生活情報に関する問い合わせ（17件）や、相談者の近況

報告（17件）など、母語でのコミュニケーションの相手として、相談員が機能していることがうかがえる。

#### イ 相談専門員の配置

- ・外国人相談専門員（中国語、1名） 火曜日～金曜日 12：30～18：30
- ・外国人相談専門員（韓国語、1名） 水曜日 15：00～17：00
- ・外国人相談専門員（英語、1名） 木曜日 15：00～17：00
- ・国際交流補助員（スペイン語、1名）土曜日・日曜日 9：00～16：00

#### ウ 外国人定期相談日

岩手県行政書士会と連携し、行政手続き等に関する専門相談に応じる相談日を定期的（毎月第3水曜日）に開設した。

- ・開設回数 12回 相談件数 8件（前年度 12回 17件）

#### エ 地域巡回相談

外国人相談専門員等が地域の日本語教室等を巡回し、地域在住の外国人への相談対応や情報提供を行った。

- ・日本語教室等巡回数 13か所（前年度 6か所）
- ・相談対応件数 47件（前年度 26件）

#### オ 震災復興関連の相談対応

震災に関する相談やそれに付随する相談に対応するため、被災地に被災地外国人相談員を配置した。

配置地域： 山田町、大槌町、陸前高田市・大船渡市

### ② いわて災害時多言語支援体制構築（CLAIR事業）

東日本大震災の教訓を踏まえ、災害時における外国人に対応した支援体制を構築するため、災害時多言語支援者を対象に盛岡、釜石の2会場で研修を実施するとともに、「災害時多言語サポーター」として14名の認定・登録を行った。また、実践訓練の実施や案内冊子「災害から外国人を守るためにできること」の作成と関係者への配布を行った。

#### ア 災害時サポート研修

##### 第1回『災害を学ぶ』

- ・講師 越野 修三 氏  
（防災危機管理アドバイザー、岩手大学地域防災研究センター客員教授）
- ・内容 岩手で起こりうる災害への対応等

（盛岡）

- ・開催日 平成28年12月10日（土）
- ・参加者数 22人

（釜石）

- ・開催日 平成28年12月11日（日）
- ・参加者数 8人

##### 第2回『災害時コミュニケーションを学ぶ』

- ・講師 松岡 洋子 氏（岩手大学グローバル教育センター教授）
- ・内容 外国人の支援に必要な文化的な背景の理解、陥りやすいトラブル例等

（盛岡）

- ・開催日 平成 28 年 12 月 18 日（日）
- ・参加者数 35 人

（釜石）

- ・開催日 平成 28 年 12 月 17 日（土）
- ・参加者数 12 人

### 第 3 回『多言語サポートを学ぶ』

- ・講師／ファシリテーター： 須藤 伸子 氏  
（（公財）仙台観光国際協会 国際化事業部国際化推進課課長）
- ・内容 東日本大震災時の仙台市多言語支援センターの取り組み、多言語サポートのロールプレイ（やさしい日本語対応を含む）

（盛岡）

- ・開催日 平成 29 年 1 月 15 日（日）
- ・参加者数 33 人

（釜石）

- ・開催日 平成 29 年 1 月 14 日（土）
- ・参加者数 11 人

## イ シンポジウム『災害から外国人を守る～東日本大震災から学ぶ多言語支援のあり方～』の開催

- ・開催日 平成 28 年 11 月 5 日（土）
- ・開催場所 岩手大学 北桐ホール
- ・共催 岩手大学グローバル教育センター
- ・コーディネーター 越野 修三 氏  
（防災危機管理アドバイザー／岩手大学地域防災研究センター客員教授）
- ・パネリスト：松岡 洋子 氏（岩手大学グローバル教育センター 教授）  
山田 壮史 氏（岩手県総務部総合防災室 防災消防課長）  
菊池 哲佳 氏（（公財）仙台国際観光協会 国際化事業部国際化推進課 企画係 主任）  
佐々木匡人 氏（オーシャンズ宮古国際交流倶楽部代表）  
吉田 亜未（（公財）岩手県国際交流協会非常勤スタッフ  
／外国人被災者）

参加者： 50 人

## ウ いわて災害時多言語サポート実践訓練の実施

- ・内容 避難所の運営者である盛岡市との共催事業として、盛岡市の外国人指定避難所である上田公民館を会場に、大地震を想定した避難所での多

言語サポート訓練を行った。

- ・実施日 平成 29 年 2 月 11 日（土）
- ・開催場所 盛岡市上田公民館
- ・共催 盛岡市
- ・参加者 63 人（サポーター 28 人、外国人協力者 15 人、運営者（約 20 人（盛岡市、岩手県国際交流協会））

#### エ いわて災害時多言語サポーターの認定

いわて災害時多言語サポーター認定者数 14 名

### ③ 多言語サポーターの登録・育成と活用

多言語サポーターの登録と活用により、在住外国人等の依頼に応じた通訳や翻訳等の支援を行った。

- ・登録者 266 人 活用 10 件（前年度 245 人、10 件）
- 対応言語数 24 か国

### ④ 私費外国人留学生支援

#### ア 奨学金支給（県補助）

私費外国人留学生に月額 2 万円の奨学金を支給するとともに、「いわて留学生大使」に委嘱し、協会の活動をはじめ、県内各地で行われた国際交流活動や県内就職に関するフォーラム等への積極的な参加を得た。

- ・奨学金受給者 10 人 国際交流等活動実績 延べ 168 件（前年度 10 人 延べ 160 件）
- [内訳] 岩手大学修士学生 6 人、岩手大学学部学生 3 人、富士大学修士学生 1 人

#### イ 奨学生交流活動支援事業（県補助）

沿岸地域（4 地域）での交流イベントや施設見学等に県内在住の留学生が参加し、交流を深めるとともに各地域の文化等を学んだ。

開催地域	開催日時	事業内容	留学生参加者数
野田村	平成 28 年 11 月 5 日（日）	野田村交流イベント及び地域おこし等の施設見学	6 人
陸前高田市	平成 28 年 12 月 17 日（日）	国際交流イベント	3 人
大槌町	平成 28 年 12 月 23 日（金）	国際交流イベント	7 人
宮古市	平成 29 年 2 月 18 日（土） ～19 日（日）	国際交流イベント及び被災地施設見学等	8 人

#### ウ 県内就職支援

岩手県（協力：岩手県外国人留学生就職支援協議会）が実施した就職支援セミナー等、就職関連の情報提供を行った。

## 3 次代を担う人づくり

### (1) 講座・研修

#### ① いわてグローバル・カレッジの開催

グローバルな視点から岩手の国際化や多文化共生について理解を深めるための講演会を開催した。

**ア 講演： 「日本－ネパール国交 60 周年特別講演会」**

講師： カマル タパ閣下（ネパール共和国国会議員）

開催日：平成 28 年 9 月 26 日（月）

場所： 盛岡市（アイーナ）

参加者数：96 人

**イ 講演： 「ニュージーランドを知る」**

講師： 及川 孝信 氏（キウイ・ジェイ・アナ社 代表）他

開催日：平成 28 年 10 月 13 日（火）

場所： 盛岡市（アイーナ）

参加者数：22 人

**ウ 講演： 「多文化共生における宗教」**

講師： 青山 亨氏（東京外国語大学大学院総合国際学研究院／教授）

開催日：平成 28 年 11 月 12 日（土）

場所： 盛岡市（アイーナ）

参加者数：39 人

**② 「いわて青年国際塾」の開催**

ニュージーランドの学校現場をワークショップ形式で実際に体験した。

ワークショップ：「ニュージーランドプログラム」

講師：及川 孝信 氏（キウイ・ジェイ・アナ社 代表）

開催日：平成 28 年 3 月 12 日（土）

場所： 盛岡市（アイーナ）

参加者：35 人

（留学相談 1 件 2 名）

**③ 「世界とのかけはしクラブ」設置運営事業の実施**

市町村の海外派遣事業参加者や国際交流に関心のある中高生、大学生など若者の発想やネットワークを地域の活性化に生かす取組として、県内 7 地域で延べ 8 回海外体験の合同報告会や海外展開に向けた地域の魅力等について、留学生等とのディスカッションを行うワークショップを開催する等、人材の育成を図った。

地域	場所	開催日	参加者数
盛岡市	アイーナ	平成28年11月20日（日） 平成29年3月19日（日）	45人
一関市	一関市民センター	平成28年7月16日（土）	19人
西和賀町	沢内バーデン	平成28年12月18日（日）	9人
久慈市	久慈市中央公民館	平成29年2月26日（日）	28人
一戸町	一戸町コミュニティセンター	平成28年10月30日（日）	30人
宮古市	シートピアなあと	平成29年2月18日（土）	17人
大槌町	大槌町立中央公民館、シーサイドタウンマスト	平成28年12月23日（日） 平成29年3月4日（土）	6人

#### ④ インターンシップ受入れ

県内学校等の依頼に応じ、小学生から大学生までの学生のインターンシッププログラムの受入れを行った。

受入実績：17校、137人（前年度 8校、40人）

所属	種別	受入期間	日数	人数
岩手大学	インターンシップ	平成 28 年 9 月 2 日	1 日	2 人
大学間連携インターンシップ	ジョブシャドウ	平成 28 年 8 月 26 日～28 日	3 日	2 人
第一学院高校盛岡キャンパス	ジョブシャドウ	平成 29 年 2 月 23 日	1 日	2 人
厨川小学校	施設訪問	平成 28 年 6 月 23 日	1 日	60 人
もりおか老人大学	施設訪問	平成 28 年 7 月 8 日	1 日	25 人
金ヶ崎高校 2 年生	施設訪問	平成 28 年 7 月 28 日	1 日	5 人
盛岡第一高校	施設訪問	平成 28 年 7 月 29 日	1 日	1 人
盛岡北高校	施設訪問	平成 28 年 8 月 13 日	1 日	1 人
盛岡第一高校	施設訪問	平成 28 年 8 月 10 日	1 日	1 人
盛岡第一高校	施設訪問	平成 28 年 8 月 13 日	1 日	1 人
横浜市立大学	施設訪問	平成 28 年 8 月 16 日	1 日	1 人
アールム大学	施設訪問	平成 28 年 8 月 17 日	1 日	8 人
日本福祉大学	施設訪問	平成 28 年 8 月 27 日	1 日	1 人
宮城県七ヶ浜町亦楽小学校	施設訪問	平成 28 年 9 月 15 日	1 日	4 人
不来方高校	施設訪問	平成 28 年 9 月 10 日	1 日	2 人
盛岡医療福祉専門学校	施設訪問	平成 28 年 10 月 3 日	1 日	16 人
盛岡市立高校	施設訪問	平成 28 年 10 月 23 日	1 日	1 人
岩手県立大学短期大学部	施設訪問	平成 28 年 10 月 24 日	1 日	1 人
仁王小学校	施設訪問	平成 28 年 12 月 13 日	1 日	3 人

#### (2) 海外研修員等の受入れ

##### ① 海外研修員等のサポート

県からの委託により、県が受け入れた海外自治体職員研修員及び海外技術研修員の研修や生活上のサポートを行った。

区分	氏名	期間	出身国	研修(内容)・留学先
海外自治体職員研修員	にん ぼー 寧 鉞	平成 28 年 5 月～ 平成 29 年 4 月	中国	岩手県
海外自治体職員研修員	えん ひ えん 閔 菲遠	平成 27 年 5 月～ 平成 28 年 4 月	中国	岩手県
海外技術研修員	八重樫亜紀カリン	平成 28 年 6 月～ 平成 28 年 11 月	ブラジル	和 久

## ＜ 管理部門 ＞

### I 評議員会・理事会等の開催状況

評議員会、理事会、専門委員会等の開催状況は、次のとおりである。

開催日	会議名	会議の概要
平成 28 年 4 月 18 日 (月)	評議員選定委員会	・評議員の選任
6 月 7 日 (火)	第 20 回理事会	決議事項 ①平成 27 年度事業報告及び附属明細書の承認 ②平成 27 年度計算書類(貸借対照表及び正味財産計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認 ③定時評議員会の招集
6 月 29 日 (水)	第 7 回評議員会	決議事項 ①平成 27 年度計算書類(貸借対照表及び正味財産計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認
8 月 4 日 (木)	評議員選定委員会	・評議員の選任
11 月 10 日 (木)	第 21 回理事会	協議事項 「グローバル人材育成の取組み」について
11 月 10 日 (木)	評議員及び役員合同の意見交換会	グローバル人材育成の取組み等について意見交換
平成 29 年 3 月 23 日 (木)	第 22 回理事会	決議事項 ①平成 29 年度事業計画書及び収支予算書の承認 ②県出資等法人に係る中期経営計画書(平成 27 年度～平成 30 年度)の承認

### II 業務執行体制等

#### 1 職員の状況

平成 28 年度末の事務局職員数は、常勤職員 4 名、非常勤専門職員 6 名、非常勤相談員 3 名、非常勤補助員 1 名である(事務局長事務取扱役員を除く)。

#### 2 コンプライアンス体制及び職員研修

当協会の目的や公益財団法人の職員としての心構えや期待されていることについて、職員の意識を涵養するため理事長講話・訓示を行うとともに、外部講師による接遇マナー研修を実施した。

また、平成 29 年 3 月、外部委員 1 名を加えたコンプライアンス委員会において、平成 28 年度における問題事案の発生はなかった旨を確認するとともに、結果を理事会に報告した。

### 3 JICA 国際協力推進員の配置

当協会と JICA（独立行政法人国際協力機構）が連携して県民の国際協力活動を促進するため、JICA 東北支部との協定により、協会内に JICA デスクを設置し、国際協力推進員を配置しているが、平成 28 年度も継続配置した。

## III 寄附金及び賛助会員の状況

寄附金及び賛助会員の状況は、次のとおりである。

### 1 寄附金の受入れ

次の 4 件 140,000 円の寄附金を受け入れた。

ア 一般寄附金

3 件 90,000 円

イ 協賛寄附金

1 件 50,000 円

### 2 賛助会員の入退会

賛助会員の新規入会を促進するため、平成 28 年 3 月から 5 月に募集キャンペーンを行い、新規入会者に入会記念品を贈呈したほか、年間を通じて、イベント開催時に参加者に賛助会員入会の呼びかけ等を行った結果、平成 28 年度の新規入会は 29 件となった。

平成 28 年度中での入退会の状況は、次のとおりである。

	平成 28 年 3 月末	入 会	退 会		平成 29 年 3 月末	増 減
			退会届	職権退会		
個人会員	310	24	15	22	297	-13
学生会員	25	5	1	3	26	1
団体会員	54	0	3	3	48	-6
合 計	389	29	19	28	371	-18

平成 28 年度事業報告についての附属明細書は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 29 年 5 月

公益財団法人岩手県国際交流協会